

東海とうかいの
(石川啄木いしかわたくぼく)

解説 恩師・与謝野寛邸で催された作歌競技会の席上で、一つの想像歌として詠まれた概念歌とされている。

東海とうかいの
小島こじまの
磯いその
白砂しろすなに

語釈 ※東海Ⅱモデルは函館の大森浜とも言われているが、漠然とした地を指すとも思われる。※小島Ⅱ金田一京介説では北海道そのものではないかと考えるが、象徴的な意味としても良いのでは。

われ
泣きな
ぬれて
蟹かにと
たわむるし

通釈 東の海の小さい島の磯辺の白砂の上で、私はわが身を憂いて悲しみに泣きぬれながら、蟹とたわむれている